



日本バプテスト連盟
宣教部・教会教育室
室長：松藤一作

《在宅》での「教会学校」の可能性を拡げてみませんか？

2020年4月22日

新型コロナウイルスの影響で、教会(会堂)に集まることが難しい教会が増えてきています。

礼拝をインターネットで配信する教会では、礼拝を在宅でおこなう人たちもいます。

ところで、教会学校はどうでしょう？「このご時世だから、仕方がない」とあきらめてしまっていないですか？

毎日を、自宅で過ごす人たち、また子どもたちがたくさんいます。

誰かとつながりたいと考えても、それが叶わない人たちが大勢います。

このような時だからこそ、共に聖書を読み、祈り合い、励まし合っていける「教会学校」の交わりを改めて確認してみませんか？

在宅での「教会学校」には、可能性があります。宣教部教会教育室では、そんな取り組みをサポートしていきたいと考えています。

「聖書教育」を用いた学びの継続

『聖書教育』では現在、ヨハネ福音書から、使徒言行録、そしてテサロニケの手紙第一を読み進めています。たとえ在宅であっても、いつもの教会学校のように、それぞれが同じ聖書の箇所を読み合い、分かち合ってみませんか？

限定的ですが、『聖書教育』4・5・6月号をホームページ上で無料公開しています。ぜひご活用くださり、それぞれの場所で、一緒に聖書を読み合い、そこから励ましと慰めをいただいでいきましょう。 聖書教育HP <http://www.bapren.com/>

ぜひ《在宅》での「教会学校」の取り組みに用いてください。

インターネットやSNSを用いた交わりの継続

教会学校は、横のつながりも大切です。それぞれがどのような思いで「この時」を過ごしているのか、リーダーがそれぞれのクラスメンバーに電話やメール等を用いて声かけをしてみませんか。

また、日曜日の教会学校の時間に、WEB会議アプリを使ってみんなで顔を合わせて聖書を読み合ったり、近況を報告し合うことも良いですね。ただしスマホやインターネットは、すべての人が使いこなせるわけではありませんから、疎外感を抱く人が無いように配慮しましょう。けれども、ネット配信の礼拝とは違う「相互」の関わりをもつことが、こうした「教会学校」の働きで出来るのかも知れません。

新型コロナウイルスの影響は長引くとも言われています。今後も会堂に集まることが難しい状況が続くかもしれません。このような時だからこそ、共に聖書を読み合い、互いに励まし合い、祈り合うことが大事だと思います。バプテスト教会が大事にしてきた「教会学校」の果たす役割は、決して小さくありません。そしていつの日か、再び教会に集まり、共に聖書を読み合い、顔を合わせて祈り合い、礼拝を分かち合うことが出来る時がきます。その時に、今というこの期間を「ブランク」とさせないために、またその時に抵抗なく、再び集まることが出来るように、今、わたしたちに出来ることをやっていきましょう。